

平成25年12月4日

各 位

リバーエレクトック株式会社
山梨県韮崎市富士見ヶ丘2-1-11
代表取締役社長 若尾 富士男
(JASDAQ・コード番号：6666)

水晶発振器「FCXO-05C」及び「FCXO-06C」を開発 32.768kHzの発振器にATカットを採用し、狭周波数偏差にも対応

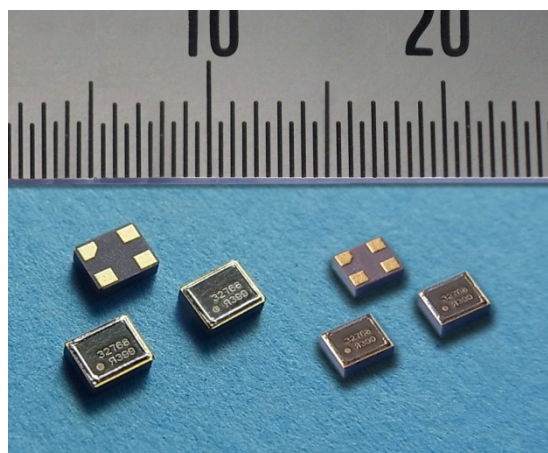
リバーエレクトック株式会社（本社：山梨県韮崎市）は、さまざまな周波数のATカット水晶片を発振回路で分周することにより、32.768kHzに代表されるキロヘルツ帯の狭周波数偏差要求にも対応した2520サイズ（2.5×2.0×0.8mm）の水晶発振器「FCXO-05C」及び2016サイズ（2.0×1.6×0.8mm）の水晶発振器「FCXO-06C」の2製品を開発いたしました。

次世代スマートフォンなどのモバイル端末やスマートメータ向けに加え、自動車、船舶、航空機等の過酷な環境においては、より高精度な水晶デバイスの需要が増すものと見られます。これらの背景をふまえ、当社が得意とし生産実績もあるATカット製品で培われた独自技術を駆使し、高い信頼性を兼ね備えた32.768kHzを出力する水晶発振器の開発を進めてまいりました。

当製品は32.768kHzの発振器にATカットを採用することで、超高速起動や広い温度範囲にわたって周波数変動を抑え狭周波数偏差への対応を可能にしました。さらに「FCXO-06C」は業界最小サイズとなっており、電子機器のさらなる小型・軽量化、多機能化に貢献してまいります。

また当社独自の「電子ビーム封止工法」を用いたセラミックパッケージと金属蓋を使用することで、高い基本性能と優れた信頼性を確保しているほか、環境に配慮したRoHS指令対応製品となっており、鉛フリーはんだのリフロープロファイルにも対応しております。

「FCXO-05C」及び「FCXO-06C」は既にサンプル出荷態勢を整えており、年内の量産開始を予定しております。



■製品名

表面実装型水晶発振器

■型名

水晶発振器 FCXO-05C

水晶発振器 FCXO-06C

■製品特長

1. 小型設計 FCXO-05C (2.5×2.0×0.8mm) FCXO-06C (2.0×1.6×0.8mm)
2. ATカット水晶片の使用により幅広い温度範囲に対応 (-40℃~+105℃)
3. 超高速起動を実現 FCXO-06C (0.2ms typ.) FCXO-05C (0.5ms typ.)
4. 幅広い動作電源電圧に対応 (+1.6~+5.5V)
5. CMOSレベルの矩形波出力
6. セラミックパッケージと金属蓋で高信頼性確保
7. 無鉛はんだ用リフローソルダーリングが可能
8. RoHS指令対応・完全鉛フリー

■サンプル出荷

対応可能

■標準仕様

〈FCXO-05C・FCXO-06C 製品仕様〉

出力周波数	32.768KHz typ.
周波数偏差	±10ppm、±20ppm、±30ppm、±50ppm

32.768kHz以外の周波数、周波数狭偏差、温度範囲拡大等の個別対応も可能。

以 上

本件に関するお問合せにつきましては、下記にお願いいたします。

【報道関係窓口】

総務部 経営企画課

TEL. 0551-20-1277 FAX. 0551-20-1283

製品写真のダウンロード

<http://www.river-ele.co.jp/products/img/fcxo06c.jpg>

【お客様窓口】

東京営業所

TEL. 03-3377-5444 FAX. 03-3374-2865

大阪営業所

TEL. 06-6998-4888 FAX. 06-6998-4899

製品に関するお問い合わせ

<http://www.river-ele.co.jp/faq/index.html>